

Library for Fujitsu SignalAdviser®-SI ユーザーマニュアル





0. 目次

1. 本マニュアルについて
2. 動作環境
3. インストール方法
4. 使用方法
5. お問い合わせ先

1. 本マニュアルについて

- 本マニュアルは、株式会社村田製作所（以下、当社）製品のパラメータを富士通株式会社SignalAdviser®-SIに提供するデザインキット（以下、ライブラリ）を使用するユーザを対象にしています。ライブラリのインストール、およびSignalAdviser®-SIのスキマティックウィンドウ上でライブラリを使用する方法までを説明します。
 - 本マニュアルに掲載されている手順によって必要な操作が行えますが、お使いになる環境によっては、本マニュアルと一部内容が異なる場合がございます。ご了承ください。

2. 動作環境

- 本マニュアルは、以下の動作環境をベースに記述しています。環境に合わせて関連する機器およびソフトウェアのマニュアルをご参照下さい。
 - OS : Windows 8/7/Vista
 - SignalAdviser®-SI

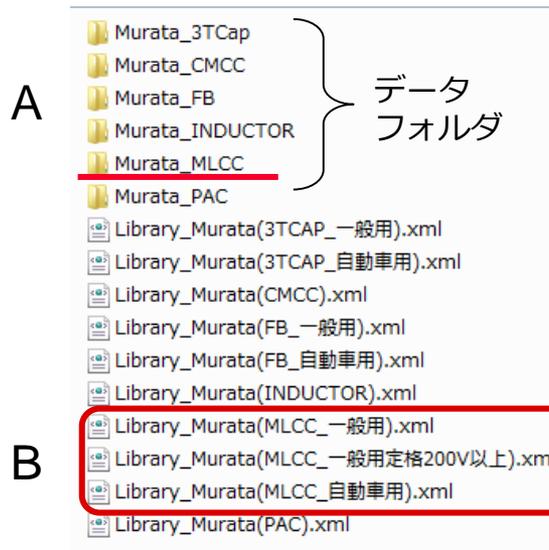
3. インストール方法 (1)

(1) Zipファイルの解凍と内容の確認

Zipファイルを適当なフォルダに解凍してください。6種類の品種データがあります。

積層セラミックコンデンサ
RFインダクタ
三端子コンデンサ
フェライトビーズ
コモンモードチョークコイル
高分子アルミ電解コンデンサ

MLCC
INDUCTOR
3TCap
FB
CMCC
PAC



一品种ごとに、
一つのデータフォルダと一つまたは複数のxmlファイルが
セットになっています。

3. インストール方法 (2)

(2) (事前準備) 前バージョンデータの削除

前バージョンMurata Libraryのデータを削除してください。

(3) データフォルダのコピー

必要な品種のデータフォルダ (前ページ"A")を、以下のフォルダにコピーしてください
この操作は、各ユーザ共通で一回だけ実行してください。

C:¥Fujitsu¥SAEXTLIB

(4) xmlファイルのコピー

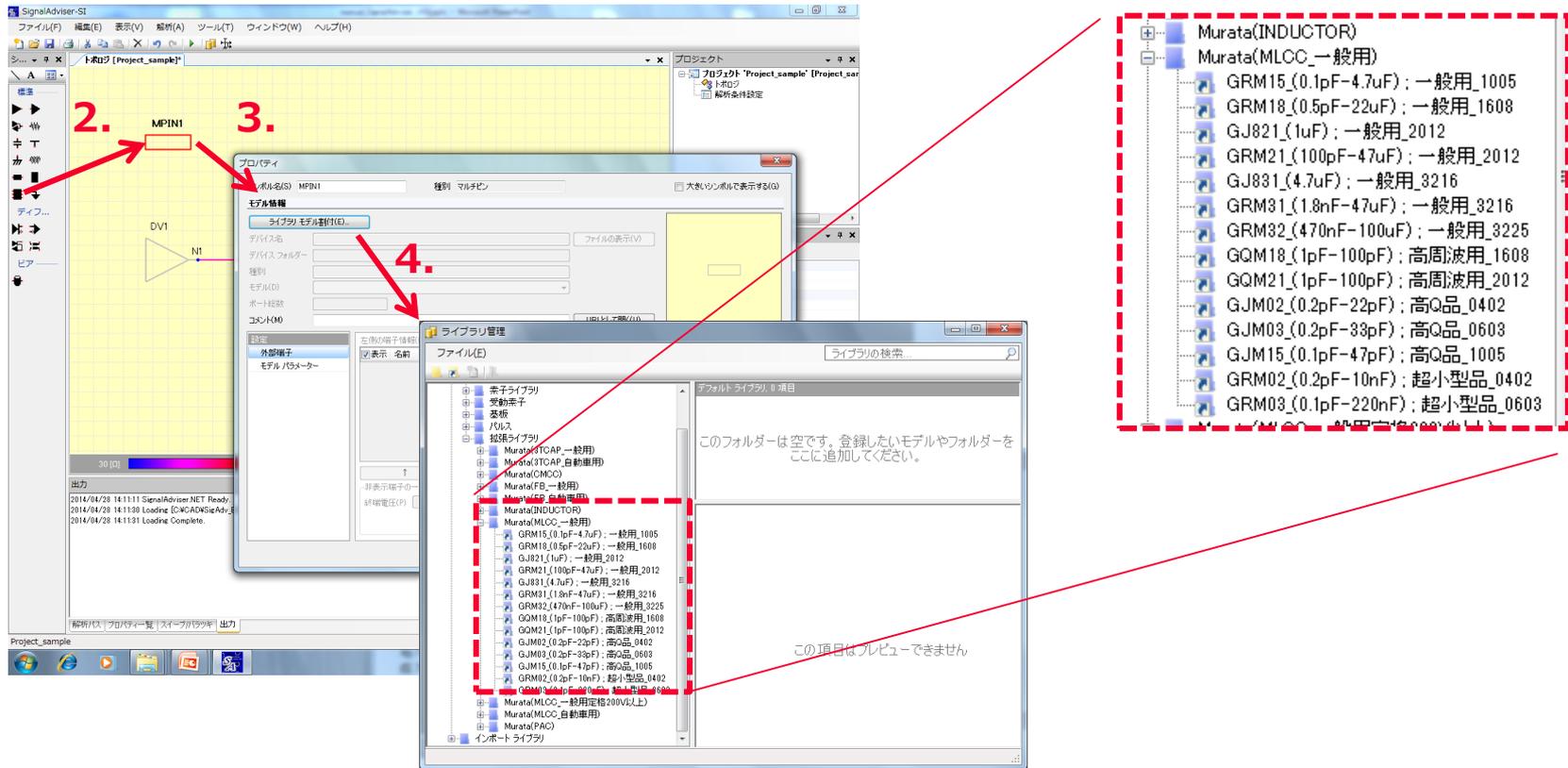
必要な品種のxmlファイル (前ページ"B")を、以下のフォルダにコピーしてください
この操作は、各ユーザごとに実行してください。

C:¥Users¥(ユーザー名)¥Documents¥SignalAdviser¥ModelLibrary

以上で、インストール完了です。

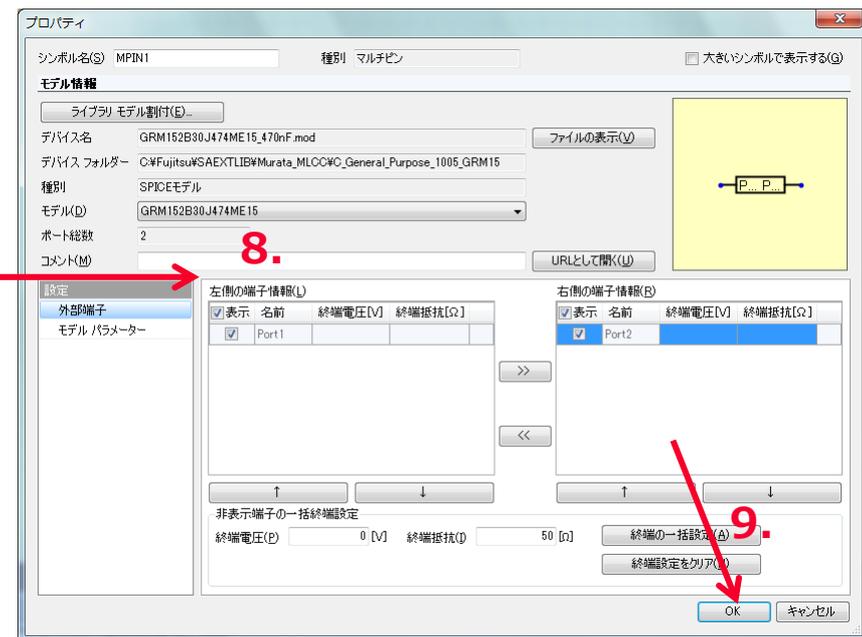
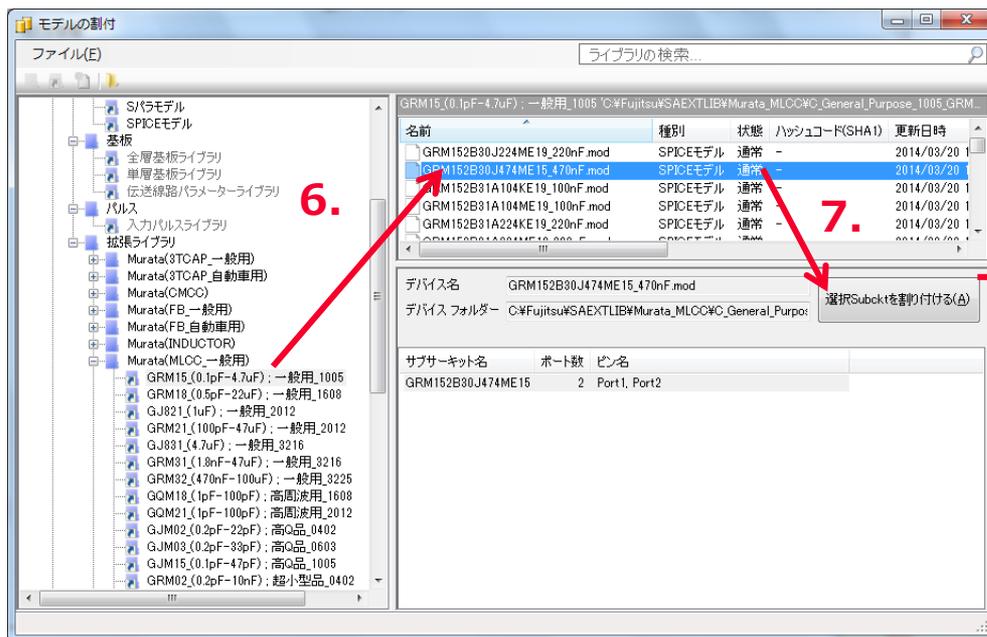
4. 使用法 (1)

1. SignalAdviser®を起動します。
2. Project上で、マルチピンシンボルを配置します。
3. プロパティ画面を開きます。
4. ライブラリモデル割付(E)をクリックして、ライブラリ管理画面を開きます。
5. 各品種ごとにシリーズ品番がリスト表示されます。



4. 使用法 (2)

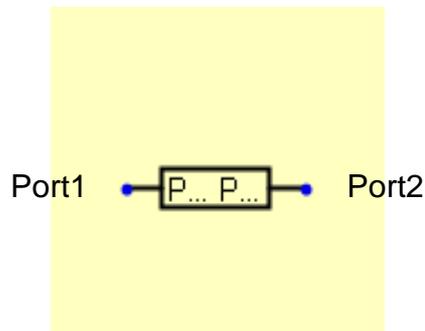
6. 所望のシリーズ品番を選択すると、各シリーズに属する部品の品番がリスト表示されます。
7. リストから所望の品番を選択し、選択Subcktを割り付ける(A)ボタンをクリックします。
8. プロパティ画面で、端子の割り付けを行います。
(次ページ、部品のピン配置をご参照ください)
9. OKボタンをクリックすると設定が確定します。部品を再配置してください。



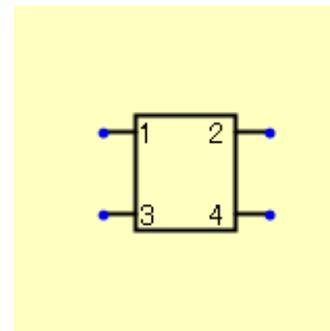
4. 使用法 (3)

【部品のピン配置】

■ 二端子部品 (MLCC、インダクタ、その他)



■ コモンモードチョークコイル

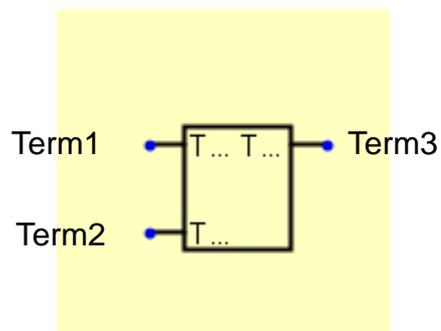


1-3 : IN
2-4 : OUT

四端子構成

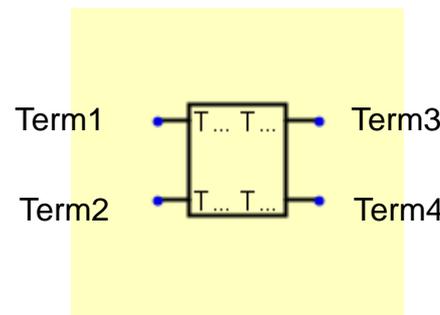
■ 三端子コンデンサ

※三端子コンデンサは品番によって等価回路の端子数が異なります。ご注意ください。



Term1 : HOT-1
Term2 : GND
Term3 : HOT-2

三端子構成



Term1 : HOT-1
Term2 : GND-1
Term3 : HOT-2
Term4 : GND-2

四端子構成

5. お問い合わせ先

- 本ライブラリに関するお問い合わせは、当社Webサイトの以下のお問い合わせフォームへお願いいたします。
 - <https://www.murata.com/ja-jp/contactform>